

年頭のごあいさつ



幌延町議会議長

藤井 秀夫

議員選挙から実施することといたしました。

社会面に目を向けますと、昨年は、小学校低学年の児童が被害にあう、痛ましい事件が連続して発生いたしました。

被害者のご家族、子どもを持つ親御さんや、学校関係者皆様の心労を思うと言葉もございません。子どもが自由に歩き、遊び、笑顔が耐えない安全で安心のできるまちづくりを、行政と町民の皆様と共に議会も努力してまいる所存でございます。

本年は、深地層研究施設計画も研究管理棟・コア倉庫・ワークショップ棟が完成し、地下施設ボーリングも着手され、幌延経済においても期待が大きいところでです。

長引く日本経済の低迷も、都市部においては回復して来ているとのことですが、私どもの地域では「三位一体の改革」による地方交付税の削減等々、まだまだ厳しい財政運営を余儀なくされている状況です。

しかしながら、私どもは自分達の住む町をより豊かで住みよい、住んで良かった」と言う町づくりを進めてまいらなければなりません。新しい年を迎えるにあたり、議決機関たる

新春を迎え、幌延町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、常日頃より町議会に対し、温かいご理解とご支援を戴くとともに厳しいご叱責をも戴き心より御礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、幌延町は単独自立の宣言にともない、「幌延町自律プラン策定住民会議」による、大いなる議論が交わされた結果、町へ答申されました。

私ども町議会といたしましても、自律プランの答申を尊重し昨年幌延町議会十二月定例会において、議員定数の見直しを行い十二名から十名に定数減をし、次に行われる町議会

町議会といたしましたは、幌延町民の皆様のお力とご助言をいただき、複雑多様化する町政と住民ニーズに慎重に対応し、住みよい町「ほろのべ」を目指して汗を流してまいる所存ですので、どうか本年も町民の皆様との相変わらぬご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

